



●Tackle Guide

仕掛けは市販品で構わないが、手返しの点から2本バリがおすすめ。大アジや大サバも交じるのでハリスは2号。1.5号だと切られてしまうこともある。同様の理由でクッションゴムも付けたほうが安心だ。

りさんがタモ取りしてくれたのは体高のある41センチのアジだった。
これはすごい。もうこれ1尾で十分なお土産だ。130号ビシのアジ釣りと違い竿も細くてビシも軽いため、ヤリトリも迫力があつた。
そのころから船中でポツポツと20〜25センチのアジが姿を見せ始める。どれもおいしそうなおアジで、釣った人もニコニコ顔だ。
カサゴをやたらと釣りにまくっている人もいたが、たぶんタナが低いのだろう。カメラ



▲30〜40センチ級の良型アジは引き味満点
▼週末はレンタルタックルで気軽に楽しむ初心者でにぎわう

東京湾のライトアジ釣りという、浅場で20センチ前後のアジを何十尾も釣る数釣りのイメージが強い。
それはそれで楽しいのだが、狙うポイントや潮の状態によって35〜40センチもの大アジがポツポツと釣れるときもある。もちろん、型狙いとなればそんなに数はのびない。
11月12日の早朝に金沢漁港の進丸へと向かった。進丸というシロギス釣りとライト

アジ釣りが看板だ。
東京湾にアイナメがたくさんいたところにはアイナメのプラクリ釣りを楽しませる貴重な船宿だった。先代の親方には、アイナメ釣りで随分と世話になった。
今回は午前ライトアジ乗合だ。日並みもよく、僕を含めて19名の釣り人が乗り込む。
進丸の特徴はビギナーに優しい船宿ということだ。当日もカップルや親子連れ、友人

を手にあっちこっちに走り忙しくなってきた。
9時半過ぎには右舷胴の間でも40センチほどの大アジが取り込まれる。
なかには大アジらしき魚を掛けたものの、ヤリトリに慣れていなくてハリスを切られてしまう人もいた。
潮が動いて時合到来
このころになると下げ潮が効き始めたのか、小中サイズのアジは2点掛け3点掛けも見られるように。
僕も20〜25センチ級を追釣したが、左舷ミヨシは基本的にコマセ係。コマセは右舷トモ方向へと流れていく。
取材しながらということもあり、小型電動リールで効率のよい釣りをしようと思っていたのだが、小さなビシなので竿を振ってどんどんコマセを出すと、すぐに空になって

仕方ないので、まったくコマセを振らずに2メートルのタナを切って置き竿にする作戦にした。ポロポロとコマセが出続ける時間を長くして竿下にアジを寄せるほかない。
これはビシ釣りで大アジ狙いをするときの一手でもある。それが奏功したのか、10時過ぎに36センチの良型を追釣できた。
大アジはいるようで、コマセの集まるトモ寄りでも何尾か取り込まれた。釣った人は見事なアジに感動しまくりで、ほかにも大サバやイシモチも釣られていた。
ふと見ると左隣の方の竿がすくく曲がっている。ビシを



▲短時間で楽しめるのがいい

オケに置いてハリスを手にしたら、海中に立派なアジがユラッ……そのときハリスを持つ手を緩めてしまったようで、ビシがアジに引つ張られてポチャン！ 衝撃でバレてしまった。
納竿時刻は10時45分だが、その5分前にまたも大アジらしきアタリ。だましましたし浮かせてタモ取りしたのは、またも40センチの良型だった。
穏やかな海での3時間ほどの釣りは、とても濃い内容だった。釣果は1〜15尾。僕は8尾をゲットしたが、うち3尾が大アジだったので大満足。翌日の釣果も35センチ級交

じりで午前船はトップ30尾、午後船もトップ31尾と安定してきている。
今回のライトアジ釣りは、型狙いで大成功。いつもこうとは限らないが、八景沖の大アジに期待して短時間の釣りにフラッと出かけてみてはいかがだろう。



▲筆者も40センチオーバーをゲット

東京湾奥金沢漁港で八景沖 手軽な東京湾のライトアジ 八景沖に大アジ回遊中!

●東京湾奥金沢漁港で八景沖
本誌ABC(神奈川)平林 潔 Kyoichi Hirabayashi



連れの貸し竿派が大多数。貸し竿はよく手入れされているし、洗濯済みのタオル、長靴やクーラーボックスも借りられ至れり尽くせり。当然のこと女性の比率も高く船上はとて華やか。
6時50分になり、船上で船長のレクチャーが始まる。これがまた分かりやすく、ビギナーや女性客にも好評だ。

置き竿に大アジが
定刻の7時半に出船。船長が選んだポイントは、15分ほど走った八景沖の25メートルダチだった。
ちょうど満潮近くで潮が全く動いていない。最初の流しではだれの竿も曲がらない。
8時半ごろになり、少し移動した30メートルダチで写真撮影をしながら竿を出していると、置き竿の穂先がキユキユンと入った。
おおっ！ と竿を手にしたら、これがまたすごい引き。激しい突っ込みは竿先を下げて、なんとかかわし、用意してきたマイタモを脇に置いた。浮かせた魚を見てビックリ。仲乗

知得! 半日船と食事

午前船、午後船ともどこかで昼食をとるケースが多いと思うが、港の近くにはおいしい食堂が多い。今回は高速入口を通過して少しだけ走り、横浜南部市場の食堂で昼食をとった。昔の南部市場と違って、きれいなショッピングモールになっている。ちなみに写真の海鮮丼は1200円。各地の港近くの食堂をチェックするのも楽しいですよ。

▲釣行帰りにボリューム満点の海鮮丼で舌つつみ

●船宿information

東京湾奥金沢漁港
進丸
☎080-8042-3303
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=半日ライトアジ乗合一人6800円(コマセ、付けエサ、氷付き)
▶備考=予約乗合。午前、午後通しは9500円、アオイノメ300円、貸し竿500円、駐車場半日150円

川島 正裕長